



MS314-52001 フォグガーニッシュ

取付・取扱要領書

この度はTRDフォグガーニッシュをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS314-52001 (FOG有)	艶消し黒	AQUA '17.06~
MS314-52002 (FOG無)	艶消し黒	

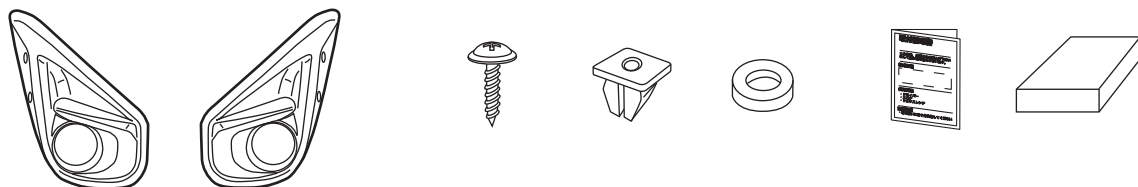
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

	品名	個数	備考
	フォグガーニッシュ RH	1	
	フォグガーニッシュ LH	1	
	タッピングスクリュー	2	
	グロメット	2	
	樹脂ワッシャー	2	
	取付・取扱要領書(本書)	1	本書
	デイトイムランプキット	1	

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20 以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70 以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

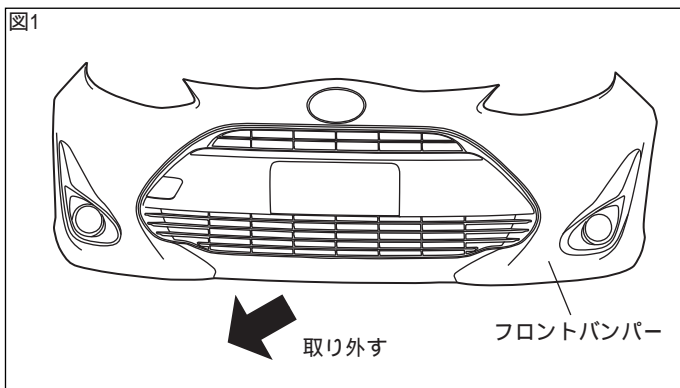
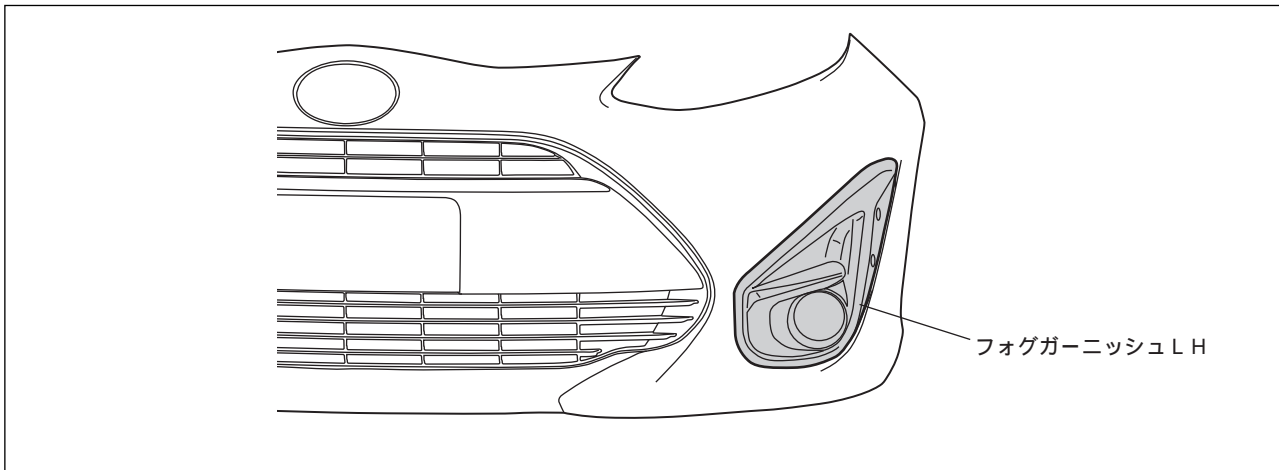
目次

- 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2 . 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 2
- 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
- 4 . 取付け要領 3 ~ 6
- 5 . 取付け後の確認・点検 6

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

取付構成図



取付準備

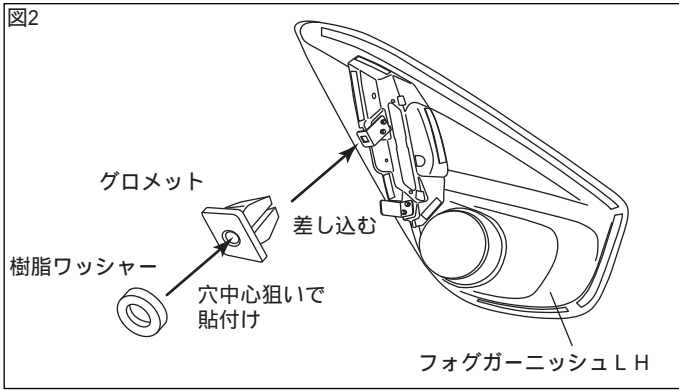
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 該当車両の車両修理書に従い、フロントバンパーを取り外す。

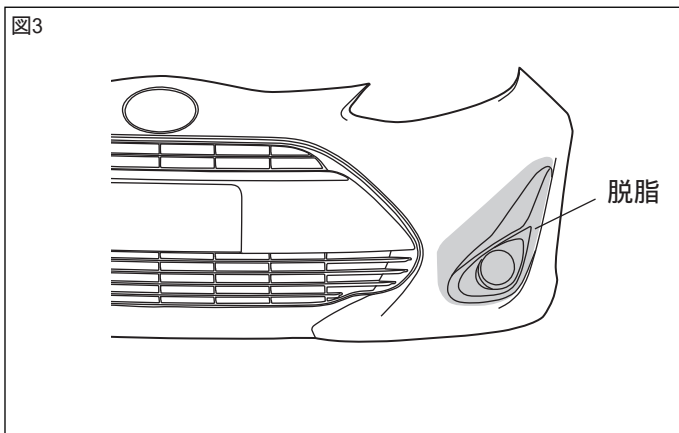
△注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：バンパー取り外し後の加工作業は作業台等の安定した場所で行い、部品の落下やキズ付きに十分注意してください。


LEDランプの取付けは、デイトムランニングランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。




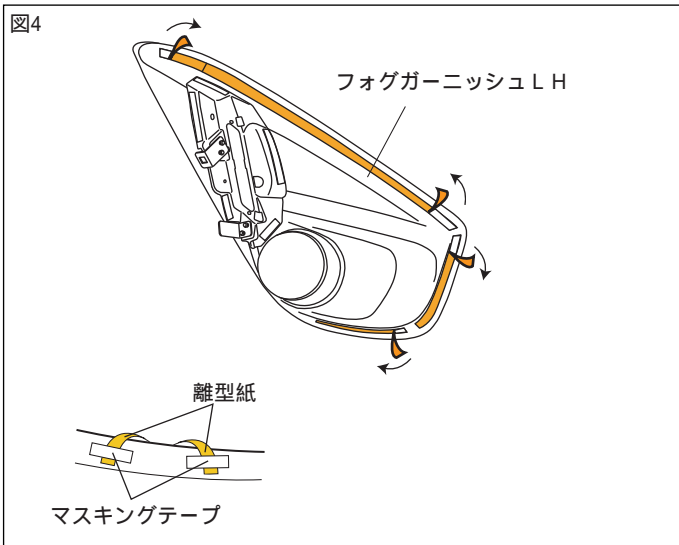
2. 図2のようにグロメット をフォグガーニッシュ のブラケットに差し込む。
樹脂ワッシャー をグロメット の穴中心狙いで貼付ける。
(左右各 1 箇所)




3. 図3のようにフォグガーニッシュLH 取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

 アドバイス: 脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

 アドバイス: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

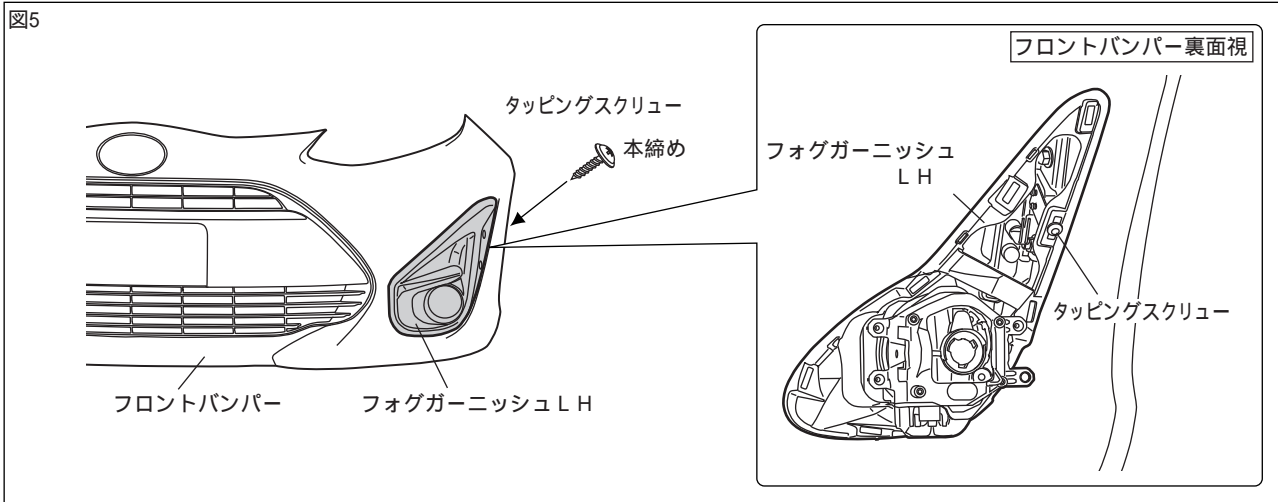


4. 図4のようにフロントスポイラー の離型紙を約 30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各 4 箇所)

 注意: 両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

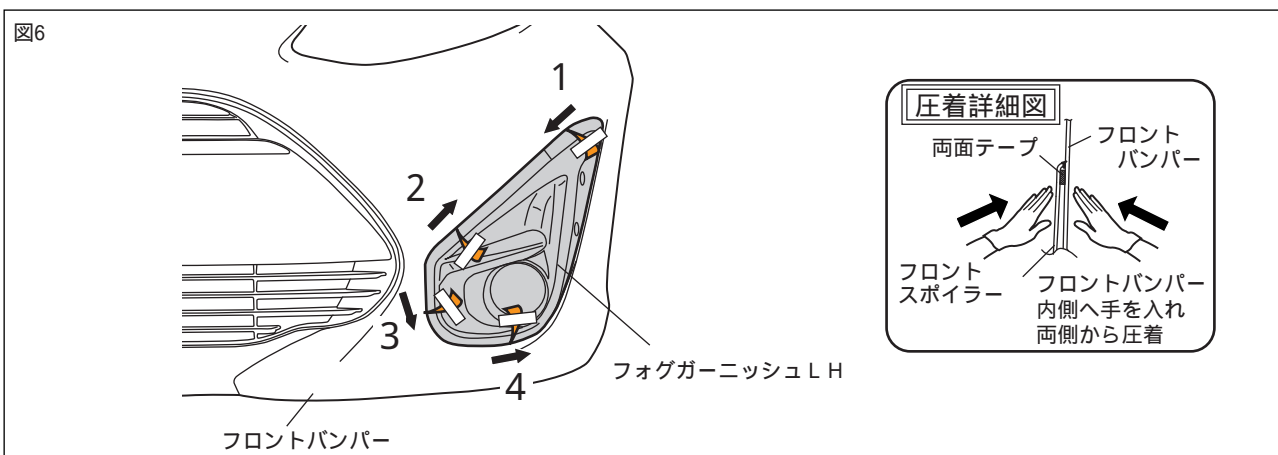
取付要領

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図5のようにフロントバンパーにフォグガーニッシュ LH をかぶせる。
2. 図5のようにフォグガーニッシュ LH をタッピングスクリュー で本締めをする。 (左右各1箇所)

LEDランプの取付けは、デイトムランニングランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。



3. フォグガーニッシュ LH とフロントバンパーの間に、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }
 (左右各4箇所)

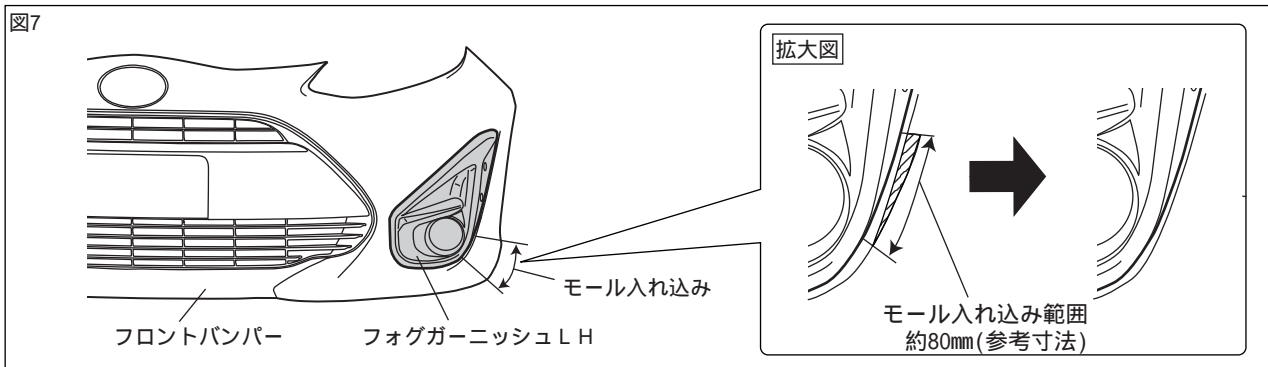
⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

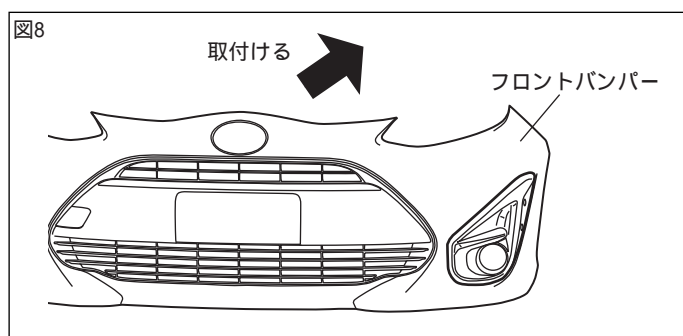
⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。



4. 図7のようにモール段差部分を車両とのスキマに入れ込み、モール境目の段差をなくす。
(左右各1箇所)



5. 車両修理書に従い、フロントバンパーを取付ける。

取付完了後の点検・注意事項

1. フォグガーニッシュ、及びフロントバンパーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. フォグガーニッシュ及び車両部品に傷等がないことを確認する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のフォグランプ及びLEDデイトタイムランプの点灯点検を確認する。
5. 作業完了後、車両修理所に従い各種センサー類・灯火類等の調整・再設定を行う。



81430-NP130 LEDデイトタイムランプセット

取付・取扱要領書

本書は上記LEDデイトタイムランプセットの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

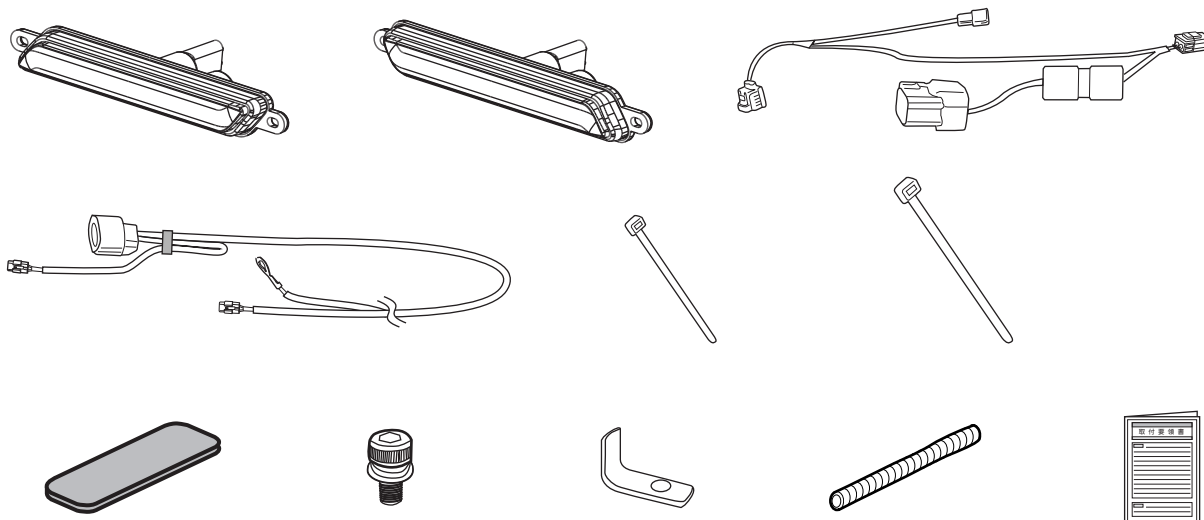
本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

品番	適合品番	備考
81430-NP130	MS314-52001/2	アクア 全適合 '17.06~

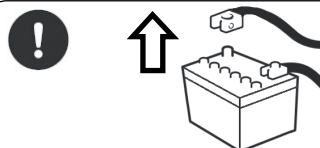
構成部品一覧表

	品名	品番	個数	備考
	LEDランプ RH		1	
	LEDランプ LH		1	
	ハーネスA		1	ユニットボックス付
	ハーネスB		1	LED接続ハーネス
	結束バンド		11	1 = 150
	結束バンド		2	1 = 200
	クッション		4	100×50
	ボルト		4	M3×8
	ブラケット		4	M3ビス穴付
	コルゲートチューブ		2	10 1 = 60
	取付説明書		1	本書は大切に保管してください。



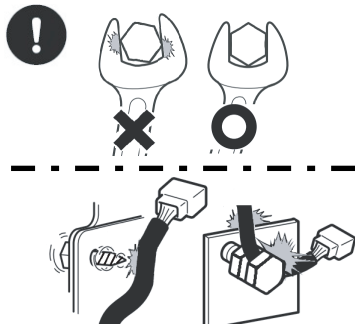
LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



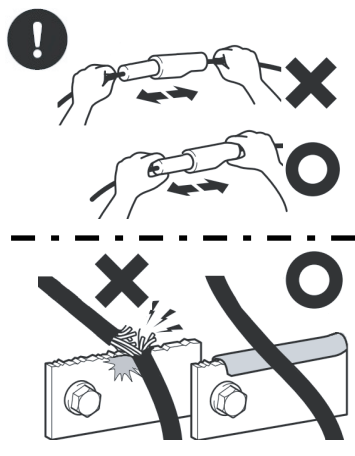
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



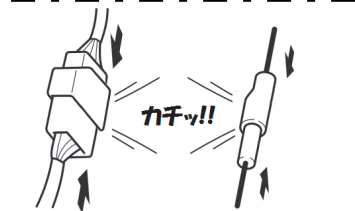
部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

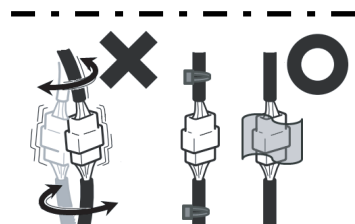


配線の取りまわしは

- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

目次

- 1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2. 配線取付け上の注意 2
- 3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
- 4. 取付け要領 3 ~ 9
- 5. 取付け後の確認・点検・回路図 10

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ハサミ、カッター、ニッパー、ラチェット、六角レンチ、定規、保護テープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA)、清潔なウエス、ビニールテープ

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

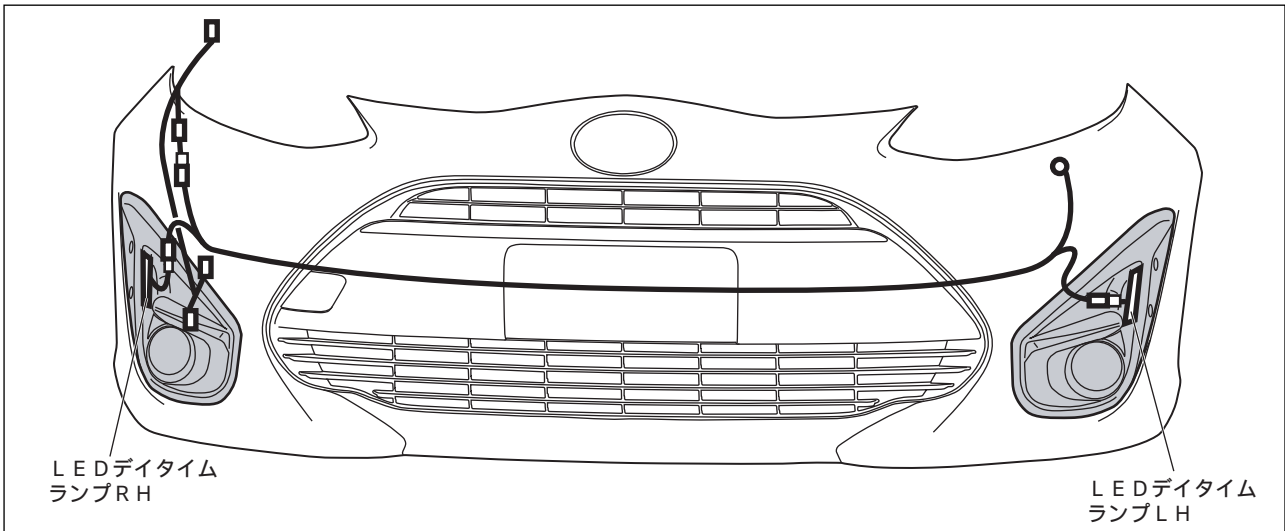
(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト <<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

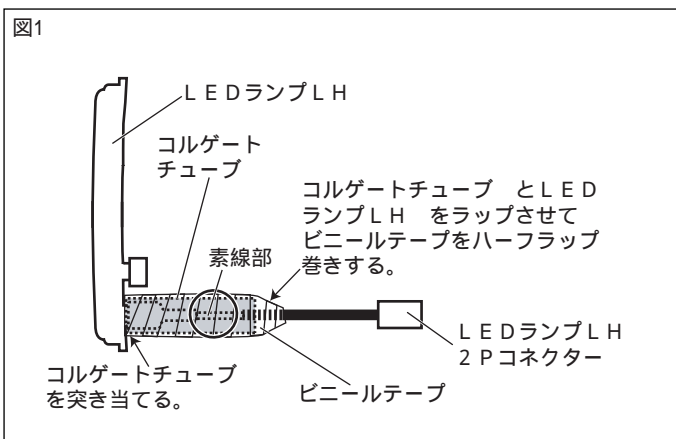
取付構成図



LEDデイタイムランプセット取付けについて

下記は、LEDデイタイムランプの取付け準備・配線作業を記載しています。
 該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

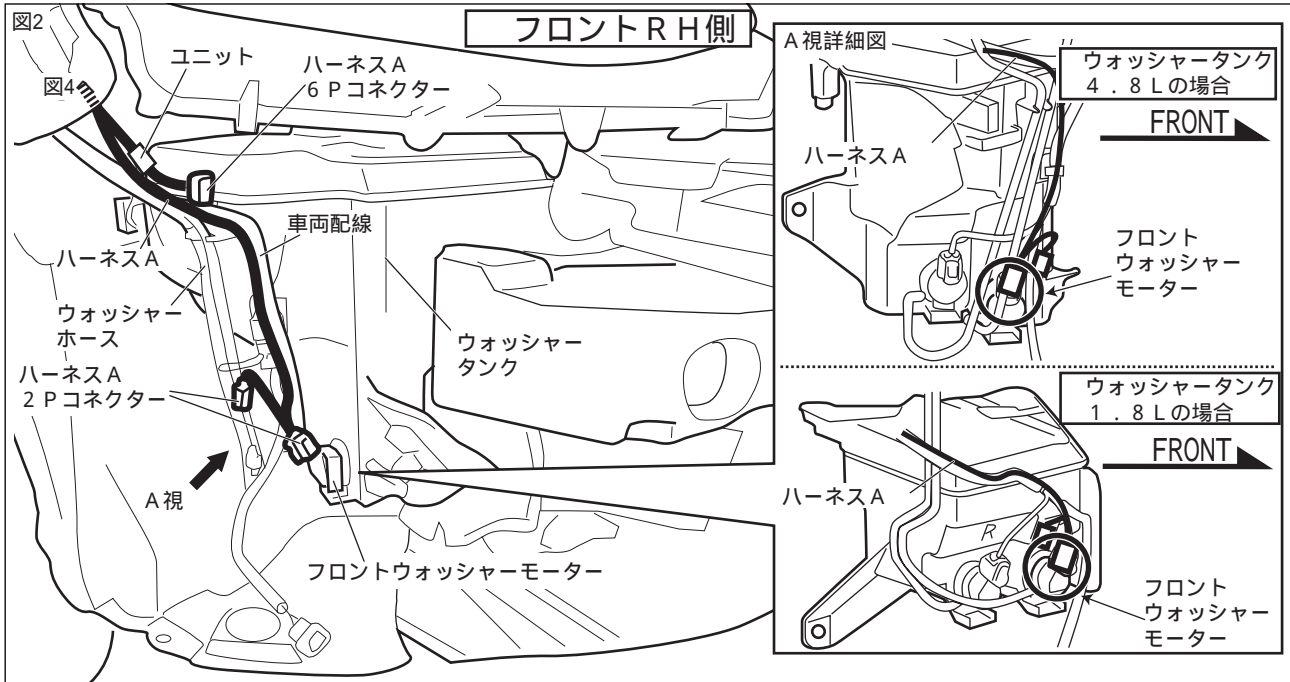
LEDデイランプ取付け準備



LEDランプの組付け

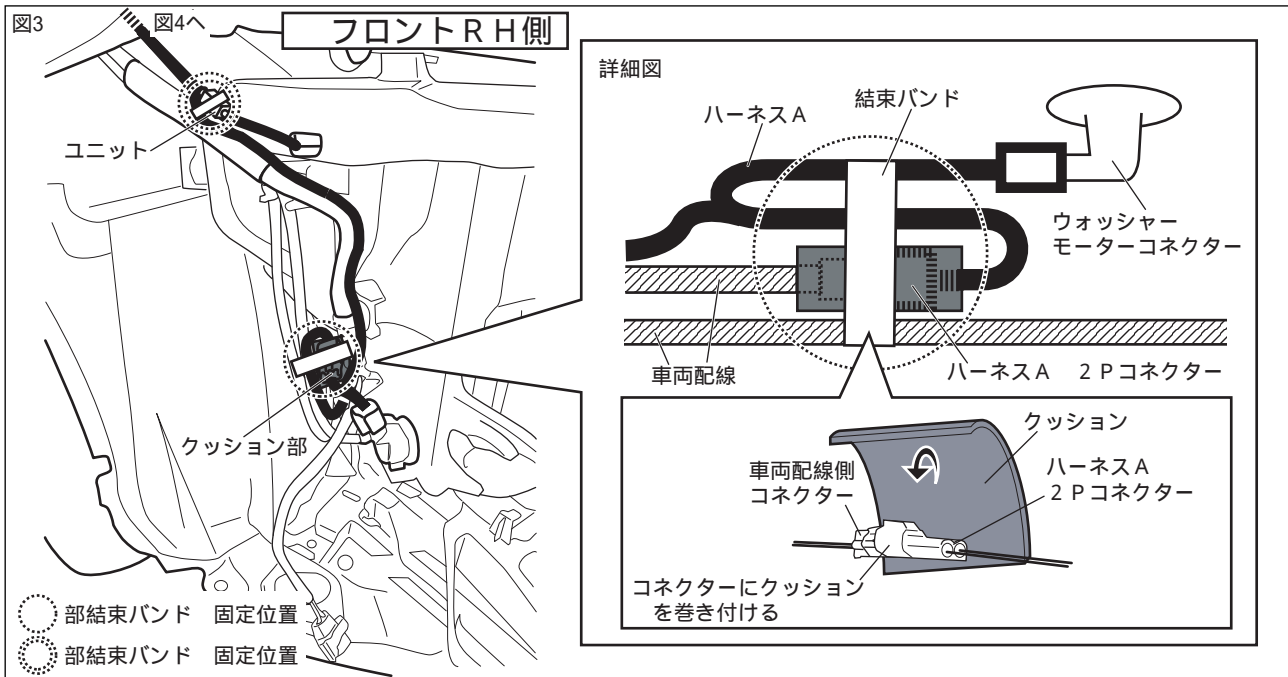
1. 図1のように、コルゲートチューブをLEDランプLH素線部を保護するように組み付ける。(1箇所)
2. 図1のように、コルゲートチューブとLEDランプLHハーネス部がラップするようにビニールテープを巻きつけて固定する。
3. RH側も同様の作業を行う。

配線の組付け



1. 図2のように、ハーネスA を引廻し、車両配線に沿って配置する。
2. 図2のように、フロントウォッシャーモーターのコネクターを外し、ハーネスA 2Pコネクターを割り込ませて接続する。(1箇所)

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。

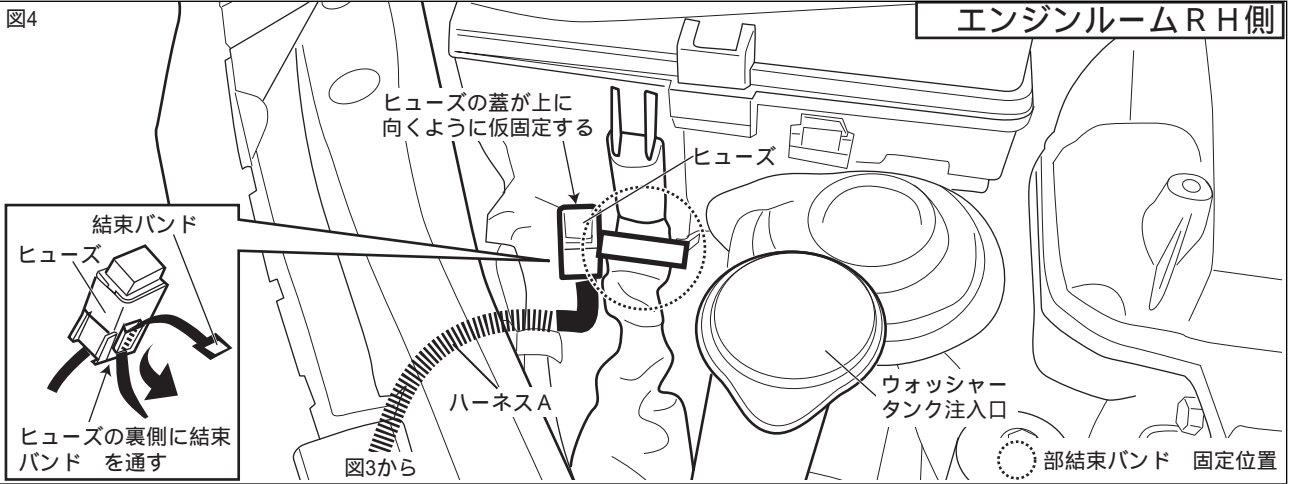


3. 図3のように、車両配線と接続したハーネスA 2Pコネクターに、クッション を巻き付ける。(1箇所)
4. 図3の詳細図のように、ハーネス余長を結束バンド で仮固定する。(1箇所)

△注意：製品ハーネスを束ねる際に、無理に引っ張ったり曲げたりしないように注意してください。

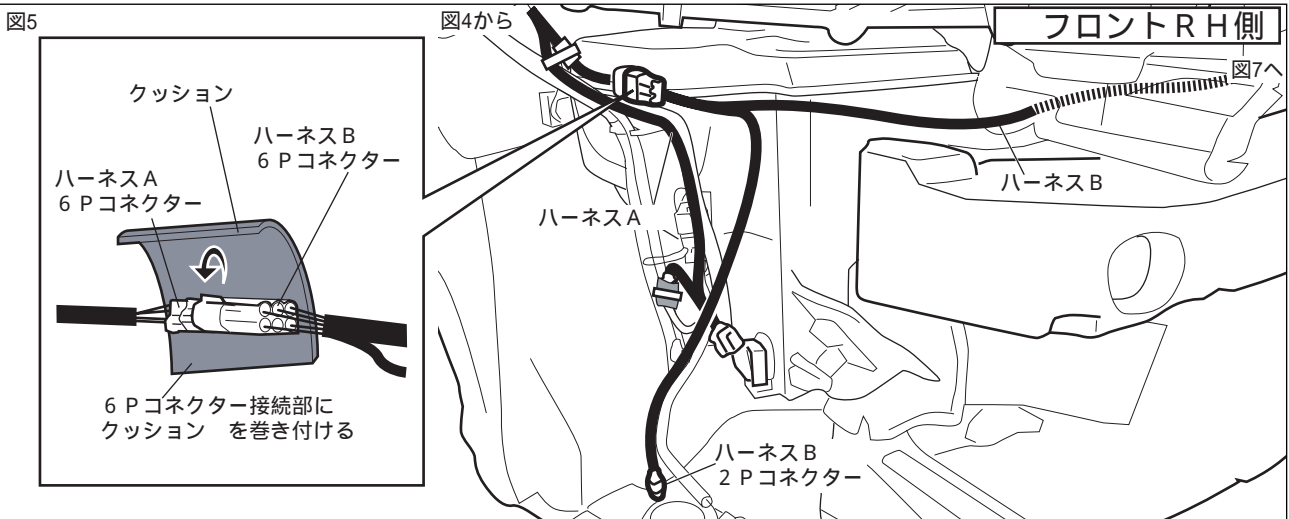
5. 図3のように、ハーネスA ユニット部とハーネスA を結束バンド を使用して車両配線クランプ部に仮固定する。(1箇所)

△注意：ユニットの端部がランプケース等のエッジに干渉しないように注意してください。



6. 図4のように、ハーネスA ヒューズ部をヒューズのフタが上を向くように配策し、結束バンド を使用してリレーボックス前側の車両配線に仮固定する。(1箇所)

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

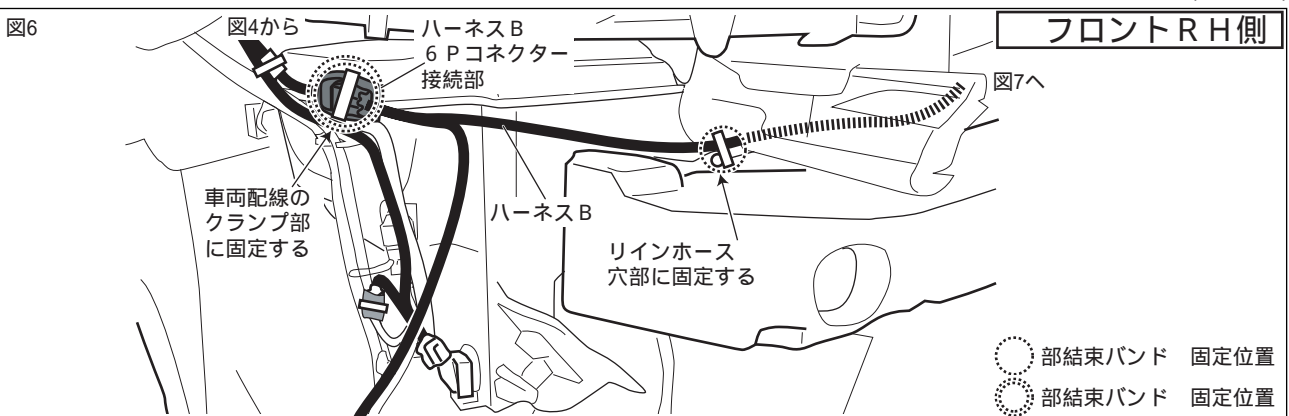


7. 図5のように、ハーネスB を引廻し、配置する。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

8. 図5のように、ハーネスA 6PコネクターとハーネスB 6Pコネクターを接続する。(1箇所)

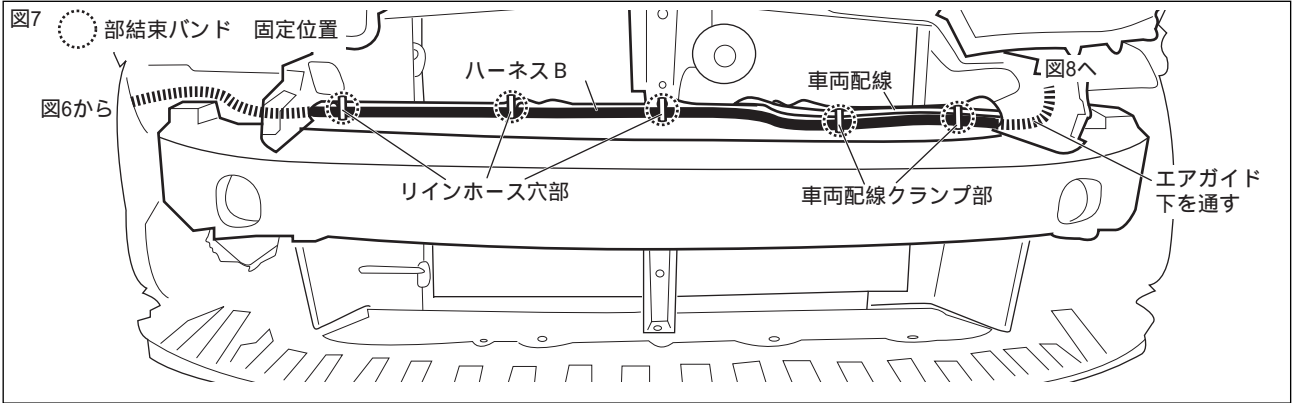
9. 図5のように、6Pコネクター接続部にクッション を巻き付ける。(1箇所)



10. 図6のように、6Pコネクター接続部を結束バンド を使用して車両配線のクランプ部に仮固定する。(1箇所)

11. 図6のように、ハーネスB を結束バンド を使用して、ラインホース穴部に仮固定する。(1箇所)

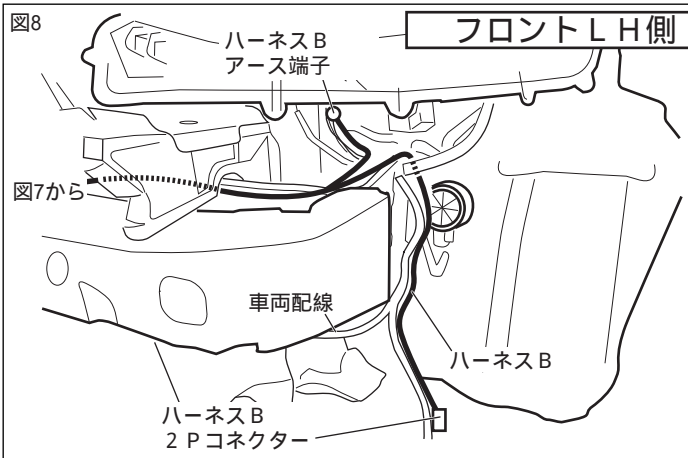
△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。



12. 図7のように、車両配線に沿ってハーネス B を配置する。

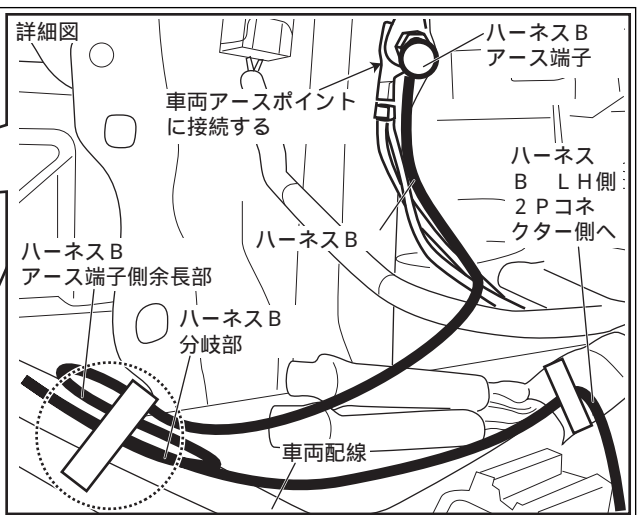
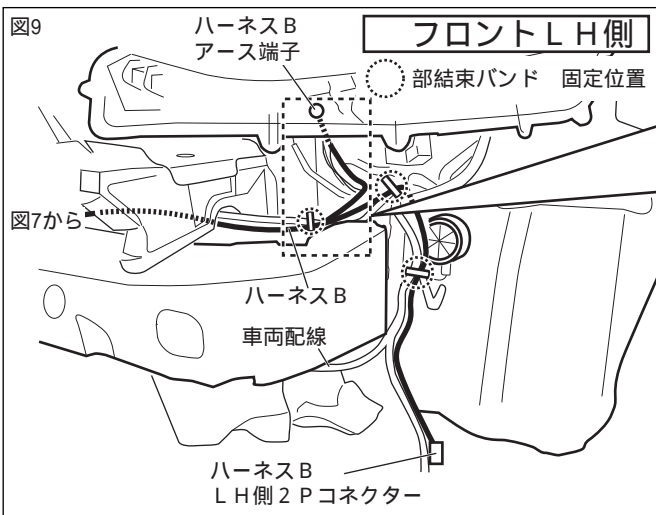
13. 図7のように、ハーネス B を結束バンド を使用して、車両配線のクランプ部とリインホース穴部に仮固定する。(5箇所)

△注意：ハーネスの取り返し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。



14. 図8のように、車両配線に沿ってハーネス B を配置する。

△注意：ハーネスの取り返し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。



15. 図9の詳細図のように、ハーネス B アース端子を图中的アースポイントに接続して締め付ける。

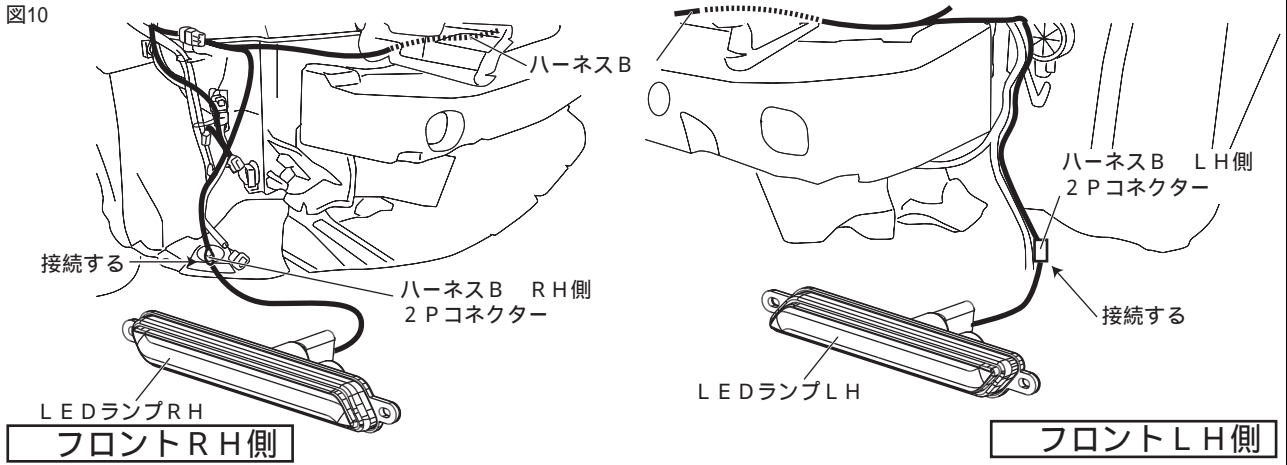
[8 . 5 N・m]

16. 図9の詳細図のように、車両配線とハーネス B アース端子側の余長を結束バンド を使用して車両配線のクランプ部に結束バンド でまとめて仮固定する。(1箇所)

17. 図9のように、ハーネス B を結束バンド を使用して車両配線のクランプ部に仮固定する。(2箇所)

△注意：ハーネスの取り返し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。

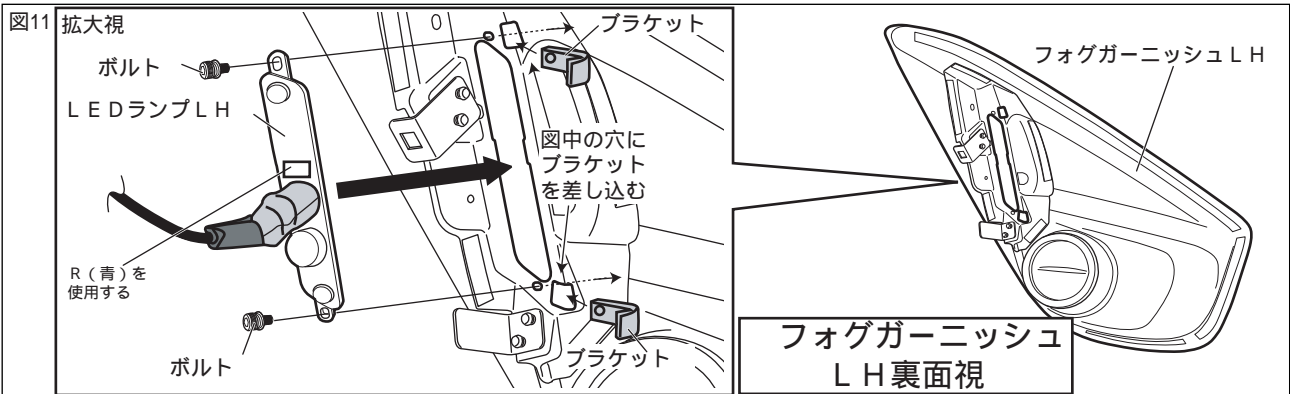
点灯確認



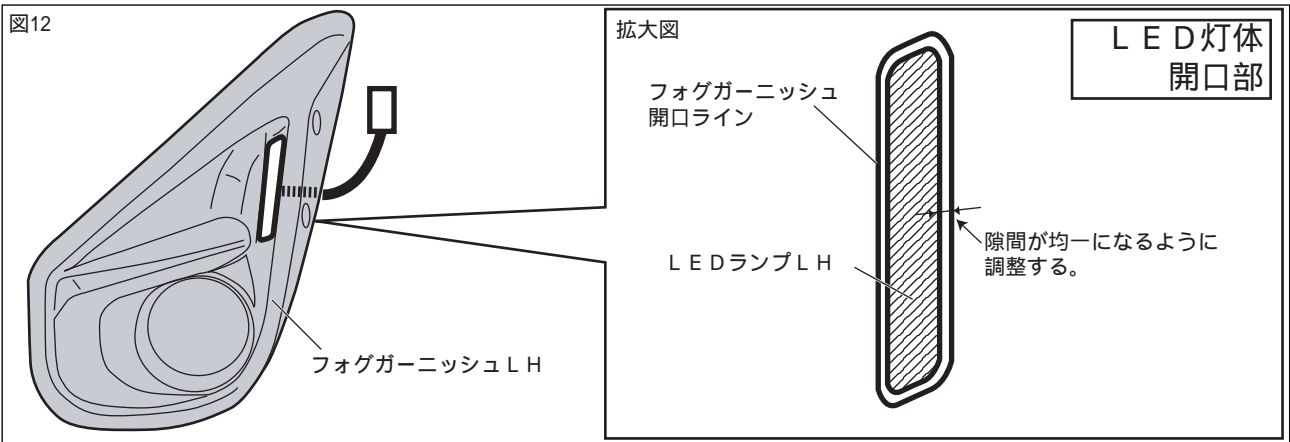
1. 図10のように、ハーネスB 2PコネクターとLEDランプRH・LHの2Pコネクターをそれぞれ接続する。
2. バッテリー⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
3. 仮接続した⊖端子とLEDランプRH・LHのコネクターを取外す。
4. 点灯確認後、仮固定している各部の結束バンドのハーネスの余長を調整し、干渉等が無いことを確認して本締めする。(13箇所)

△注意：結束バンドの本締めは、配線が動かない程度に締付けて、締めすぎに注意してください。

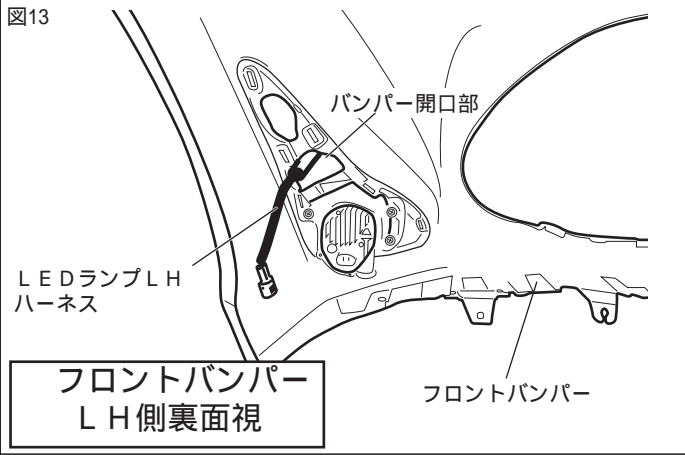
LEDデイトタイムランプの組付け・配線の取り直し



1. 図11のように、LEDランプLHをフォグガーニッシュLHにブラケットを使用し、フォグガーニッシュLHの別ピースにボルトで仮締めする。(2箇所)



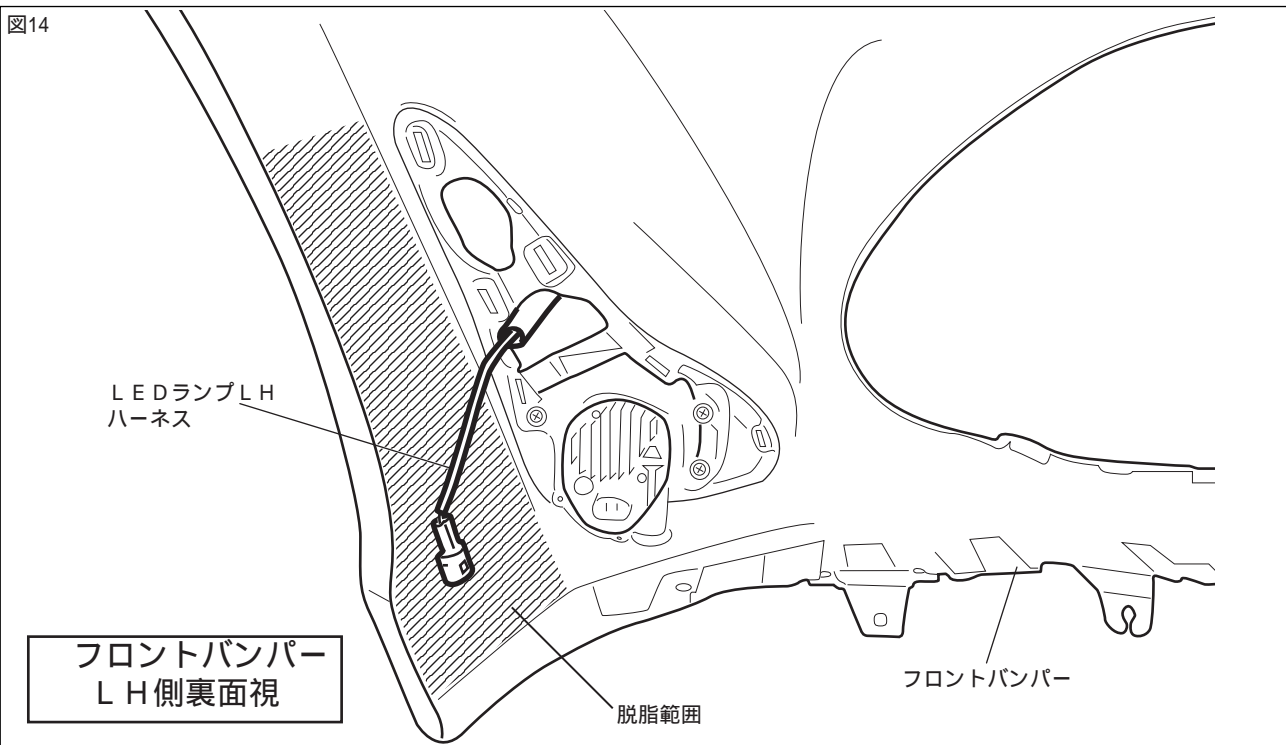
2. 図12のように、フォグガーニッシュLHとLEDランプLHの周囲の隙間が均一になるように調整し、本締めする。(1箇所)
3. RH側も同様の作業を行う。



4. 図13のように、LEDランプRH・LHハーネスをバンパー開口部から通し、フォグガーニッシュをフロントバンパーに取付ける。

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。

フォグガーニッシュの取付けは、フォグガーニッシュ取付要領書に従い、取付け作業をしてください。



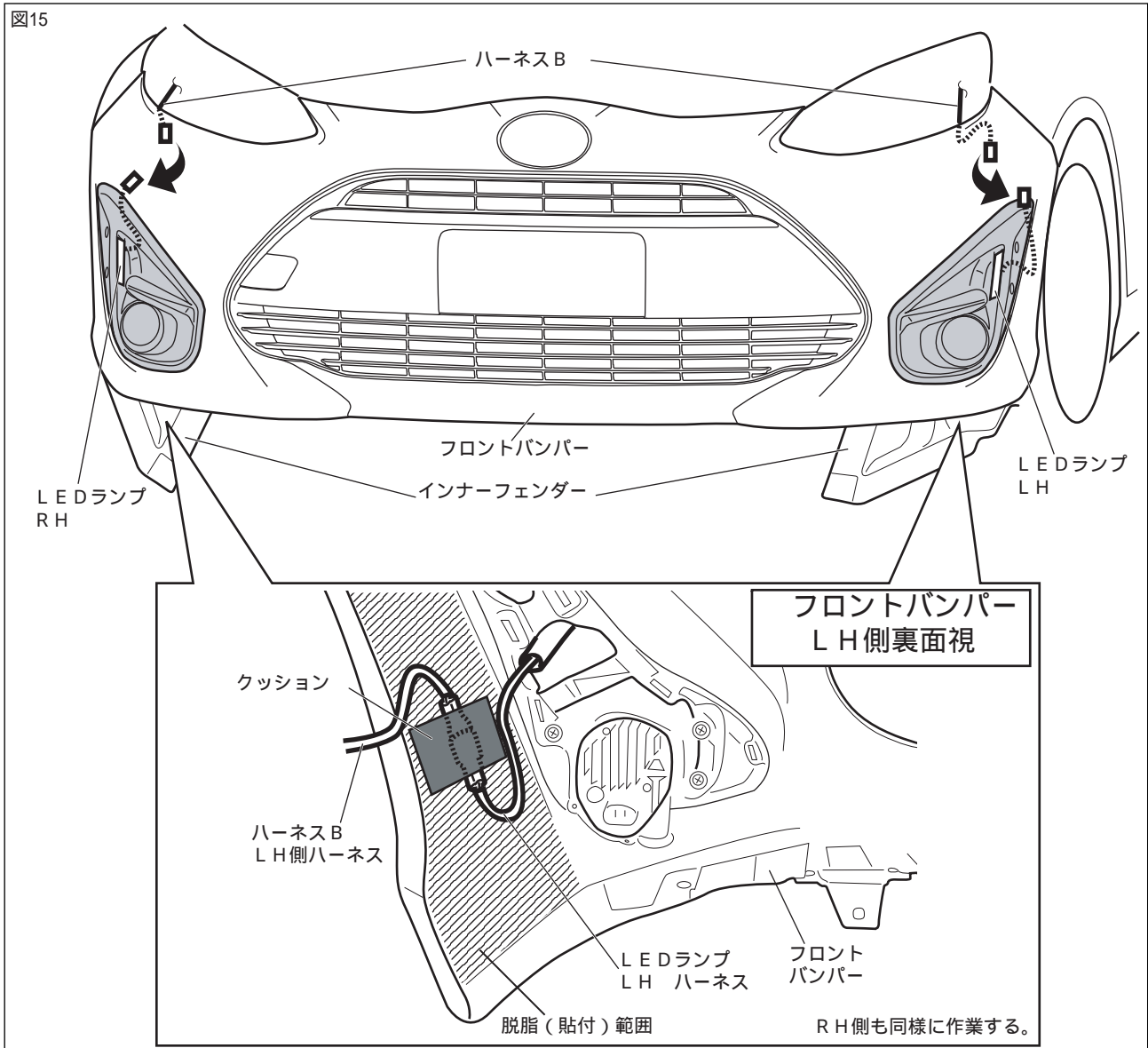
5. 図14のように、貼付部の汚れを取り除きホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(以下、IPAという)で一方向に拭いて脱脂する。(1箇所)

6. RH側も同様の作業を行う。

△注意：脱脂を行う際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

フロントバンパーの復元と接続

図15



1. 図15のように、インナーフェンダーを残した状態にして、フロントバンパーと取り外した車両部品を復元する。

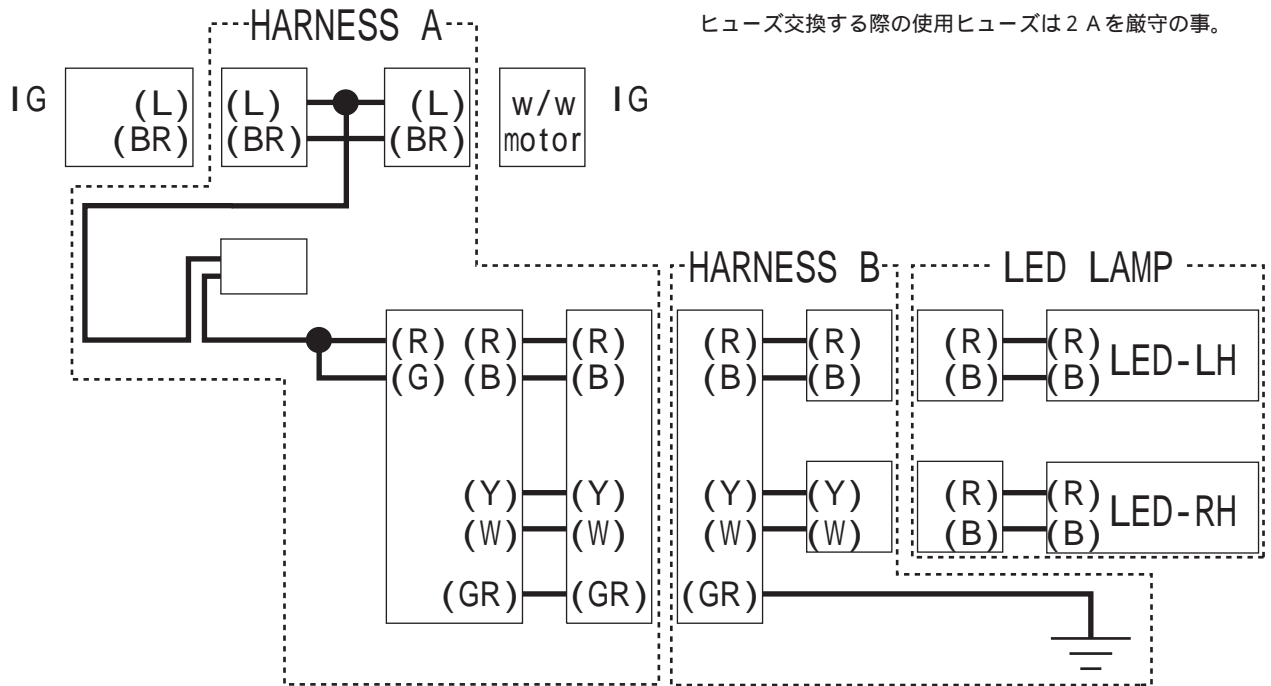
フロントバンパーの復元は、車両修理書に従い、復元作業をしてください。

⚠注意：車両部品の復元時、配線のかみ込みに注意してください。

2. 図15のように、ハーネスB 2PコネクターとLEDランプRH側・LH側コネクターを接続する。
3. 2Pコネクター接続部をインナーフェンダー内にクッション を使用して貼り付け固定する。
(R/L各1箇所)
4. バッテリー⊖端子を復元する。
5. イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
6. インナーフェンダーと外した全ての部品を復元する。

回路図(図16)

図16



取付完了後の点検・注意事項

1. フォグガーニッシュ、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. 製品、及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. ウィンドウォッシャーの作動点検を行う。
4. イグニッションONの状態LEDランプが正常に点灯することを確認する。
5. 該当車両の修理書に従い、取付けに伴い脱着した部位のセンサー、灯火類等の調整・再設定を行ってください。